

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX:0595 (21) 8839

E-Mail:iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 A-1 外国語科・外国語活動①を実施しました！ 「コミュニケーション能力の土台づくり:AI時代のアップデート」 【講師】 岐阜大学 教授 仲 潔 先生

4月9日(木)、講師に岐阜大学教授の仲潔先生をお招きし、研修講座「外国語科・外国語活動①」を行いました。

今年度も言語習得に向けて、グループ活動を多く取り入れ、子どもたちが楽しく学ぶ手立てをたくさん教えていただきました。講座では、大きく分けて2つのことをご教授いただきました。1つ目は ChatGPT や Gemini といった AI アプリの活用です。教科書本文をスラッシュリーディングできるプリント生成や学習者の学年

や定着度合、文法(何を学ばせたいか)を選ぶと、授業案

が提案され、授業の土台ができ上がるというものです。そして2つ目は、その「AIの提案通り」を超えるためのグループ学習です。そこで仲先生がお話された言葉を紹介します。「コミュニケーション能力の土台」をつくるためのヒントが詰まっていることと思います。



- 子どもたちも学習中に立って、動いて、声を出す。言葉を発することが大事。
- 世の中には知らないことがいっぱいある。知らないことを「知りたい」という意欲、「なぜ」という子どもたちの気持ちをどうつないでいくか。その上での AI アプリや本の How to がある。
- 子どもたちも正解したらうれしい。クリアできなかつたら悔しい。
- どの技能(話すこと・聞くこと・読むこと・書くこと)をとったとしても、全て「考える力」をともなっている。授業中、「考えること」を忘れない。
- まずは書く。そして言う。言うとき「Me too」と反応がある。反応があると「考える」。
- 「I」から始まる文が書けるように。それは自分の事を話せるということ。自分事としてとらえるということ。

アンケートより【一部抜粋】

・表現を知るだけでなく、汎用的に使う場面や活動の設定が大切であると感じた。文章での動詞の表現において、「I～」が基本になること等、授業だけでなく英語そのものについて、私自身、大変勉強になった。知らないことを知る楽しさを感じる機会となったので、子どもたちにも楽しむことを楽しめる活動や授業づくりを大切にしたい。【小】

・いつも同じ活動ばかりしていたので、新しいものを知れてよかった。これからの授業で活かしたい。すごく楽しみながら研修を受けることができた。このような授業をつくっていきたい。【中】

・AIにテーマを投げかけると、例文や授業の組み立てまで提案してくれることは知らなかった。丸ごと頼りきるのではなく、上手に活用していけたらと思う。効果音だけで相手が何を表現しているのかを当てるクイズでは、全く思いつかない場面があり、頭に浮かんでいるのに言葉にできないもどかしい気持ちになった。子どもたちもこんな気持ちになることがあるのではないかと身をもってわかった。実践にとっても役立つ講義をしていただいた。【ALT】